

2014年2月25日

2014年3月11日 東日本大震災から三年を数えての祈り

東日本大震災現地支援委員会 大須賀真人（盛岡教会）

主なる神さま、主のみ名をあげ、讃美いたします。

東日本大震災が発生してから、三年という年月が過ぎます。この節目に三つのことを思います。

一つは、この三年間、主の守りと支えがあったことです。

この震災で、多くの人たちが被害にあい、深い傷を負いました。多くのものを失い、さまざまな人間関係が引き裂かれました。そして、三年が過ぎようとしている今も、多くの人たちが、あの日のことを思い出しながら涙を流しておられます。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故と、その後の放射性物質の拡散や、それが含まれた汚染水の流出、さらに燃料棒の移送作業によって、現在も、多くの人たちが、不安と苦しみのなかにおられます。被災地には、今もなお、悲しみ、恐怖、悔しさ、怒りがあります。そして、あまりに甚大な被害と激しい痛みの中で、私たちは立ちすくむ時があります。

その只中で、主は私たちに、様々な形で、主の御言葉と祈り、慰めと励ましを与えてくださいました。被災した人たちとの出会いを与えてくださいました。そして、今も、共に生かされていく希望をもって交わりがもたれています。また、全国の諸教会・伝道所の兄弟姉妹たちをはじめ、海外の兄弟姉妹たちとも共に仕えていく恵みを与えてくださいました。そして、こんにちに至るまで、多くの祈りと募金に支えられ、支援活動が続けられています。私たち、すべての人たちのところに、十字架の主イエス・キリストが共におられ、共に歩んでくださっていることを思います。そして、こんにちがあります。

この三年間、主の守りと支えがあったことを、心より感謝いたします。

そして、もう一つ思うことは、主に悔い改めることです。

三年が過ぎようとしていくなかで、私たちはあの2011年3月11日午後2時46分の出来事を、だんだんと忘れつつあります。しかし、三年が過ぎようとしている今も、人と街が津波にのみ込まれたあの日のことを思い出しながら、涙を流す人たちが多くおられます。自分の住まいで落ち着いた生活をしたいと望みつつも、今もなお仮設住宅に住むことを余儀なくされている人たちが多くおられます。また、東京電力福島第一原子力発電所の周辺地域では、汚染水の流出や、燃料棒の移送作業が続いているなか、肉体的にも精神的にも大きな苦痛を受け続けている人たちが多くおられます。住み慣れた故郷に戻ることも出来ず、慣れない土地で長期的な人生設計も出来ないで苦しむ人たちが多くおられます。この他にも、痛みのなかにある人たちが多くおられます。

主よ、憐れんでください。私たちを、今もなお涙を流しておられる人たち、苦しんでおられる人たちにより添い、共に歩む者としてください。

また、復興に困難をおぼえている地域があるなか、2020年東京オリンピックの開催が決定されました。そして、少しでも原発事故の処理状況について情報が欲しいなか、特定秘密保護法が可決されました。このことは、被災された地域の復興に、大きな影響をあたえることでしょう。

更に、原発事故の早期収束が求められるなか、原発の再稼働や海外への売り込みといった準備が進められてきました。一方で、汚染水の流出には十分な対応がなされず、放射性物質による汚染被害は拡大してきました。その被害は近隣諸国に広がり、今もなお、多くの地域に広がり続けています。

しかし、私たちはこれらのことに対して、為政者たちに伝わるような十分な声をあげることができませんでした。

主よ、憐れんでください。私たちを、被災地をはじめ全国、世界の人たちの痛みにより添い、共に必要な声をあげる者としてください。

最後に一つ改めて思うことは、現地では多くの人たちが、現在も、助けを必要としていることです。

三年が過ぎようとしている今もなお、多くの人たちが、祈りとより添いを必要としています。主よ助けてください。私たちは今まで以上に、主の御言葉と祈り、慰めと励ましを必要としています。主は、この三年間、私たちを守り、支え続けてくださいました。そして、今もなお、多くの人たちの祈りと奉仕と募金によって、その恵みをあらし続けてくださっています。どうぞこれからも十字架の主イエス・キリストの愛と慈しみを私たちに増し加えてください。復活の主イエス・キリストのちからと希望を私たちに大きくあらしめてください。そして、主なる神さまのみ心こそが行われることを祈ることができるように、私たちの信仰を守ってください。

最後に主の祈りをお献げいたします。

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。

このお祈りを主イエス・キリストの御名によって、主なる神さまのみ前にお献げいたします。

アーメン